

② 指針策定の趣旨

群馬県の豊かな自然を守り、環境と調和した持続可能な社会をつくっていくためには、私たち一人一人の自覚と行動が不可欠です。そのためには、環境に関心を持ち、自ら学び、環境と人間のかかわりについて正しい理解を持ち、主体的に行動できる人を育てていくことが必要です。

現在、県内では、県民、ボランティア団体、NPO、企業、行政など、さまざまな主体によって環境学習が実施されています。しかし、現状は必ずしも体系的な環境学習が行われているとは言えず、今日の複雑化した環境問題を正しく理解し、環境に責任を持つ人を育てていくためには、成長段階に応じた環境学習が体系的に継続して行われる必要があります。そのためには、それぞれの関係者が、共通の認識に立って、連携、協力して取り組んでいく必要があります。

この指針は、こうした状況を踏まえ、県内における環境学習が、関係者の連携、協力により、一層体系的かつ総合的に推進できるようにするために策定するものです。

